編集後記

7月、日本では海開き・山開きなどアウトドアの季節到来である。がその前に、「夏越（なごし）の祓（はら）い」を済まされた方もあるだろう。新暦や旧暦の6月末に設定されているこの行事は、これまでの半年の間に犯した罪や穢れを払い、暑さの夏を迎えるにあたって疫病予防の意味もある。特に今年は、新型インフルの今後もにらんで、身体を鍛える夏としたいものだ。

今号では、作家上橋菜穂子氏にインタビューさせていただいた。世界は様々な要素からなりたっていて相対的な視点なしには理解しえない、という骨太の世界観から物語が紡ぎ出されるというお話を伺うことができた。その世界観のベースの一つが文化人類学・民族学であるという氏の言葉は、その研究センター・資料情報センターである民博にとって心強い。

冒頭の「鍛える」に引き寄せれば、こうした、研究の世界から異なる領域や市民社会への展開は、文化人類学・民族学それ自体を鍛えることにつながる。今後も折に触れて、この研究分野から様々な領域に広がる活躍をされている方々へのインタビューを試みたい。（久保正敏）

次号の予告

特集 **旅する神々**

月刊みんぱく
2009年7月号
第33巻第7号通巻第382号　2009年7月1日発行

編集・発行　人間文化研究機構 国立民族学博物館
〒565-8511 大阪府吹田市千里万博公園10-1
電話　06-6876-2151

発行人　西尾哲夫
編集委員　久保正敏（編集長）　佐々木史郎　庄司博史
中牧弘允　三尾 稔　山中由里子
協力　財団法人 千里文化財団
制作　京都通信社
印刷　市蔵図書

＊本誌についてのお問い合わせは国立民族学博物館企画連携係にお願いします。
＊本誌掲載記事の無断転載を禁じます。

みんぱくウィークエンド・サロン 研究者と話そう

●予定時間　14時30分から15時30分（予定）。
●常設展示場観覧料が必要です。
＊都合により、予定を変更することもあります。

国立民族学博物館（みんぱく）の研究者が、来館された皆様の前に登場します！
「研究について」「調査している地域（国）の最新情報」「展示資料について」などなど、話題や内容は千差万別！
どんどん質問もおよせください。展示場でお待ちしています。

7月の開催

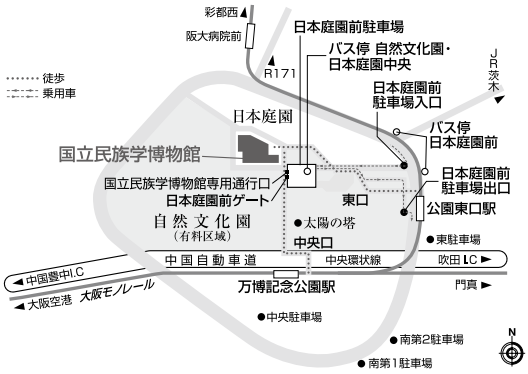
7月5日（日）
話者：飯田卓
（文化資源研究センター准教授）
話題：工芸品と美術品と民芸品
—マダガスカルの墓標彫刻アルアル
場所：アフリカ展示

7月12日（日）
話者：川口幸也
（文化資源研究センター准教授）
話題：アフリカの都市生活をどう伝えるか
場所：アフリカ展示

アフリカ展示

7月19日（日）
話者：竹沢尚一郎
（民族文化研究部教授）
話題：アフリカの歴史を考える
場所：アフリカ展示

7月26日（日）
話者：五月女賢司
（文化資源研究センター機関研究員）
話題：アフリカ展示場をつかったワークショップのこころみ
場所：アフリカ展示



交通案内
●大阪モノレール「万博記念公園駅」・「公園東口駅」下車、徒歩約15分
●阪急茨木市駅・JR茨木駅・北大阪急行千里中央駅からバスで「日本庭園前」下車、徒歩約15分（茨木方面からは、もっとも近い「自然文化園・日本庭園中央」バス停で下車できるバスが1時間に1本程度あります。詳しくは阪急バスにお問い合わせください）。
●自家用車は、公園内の「日本庭園前駐車場」（有料）から徒歩約5分。「日本庭園前ゲート」横にある民博専用通行口をお通りください。
●タクシーは、万博記念公園「日本庭園前駐車場」まで乗り入れできます。

みんぱくホームページ
http://www.minpaku.ac.jp/